

# 回覧

# 資源分別回収のお知らせ

回収量に応じて、回収業者と市からお金が支払われます。  
このお金は、地域のさまざまな活動に使われています。

【注意】 粗大ごみは出せません！！  
雨の日や雨の降りそうな日は、古着は出せません！！



実施日	3月1日(土) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">第1土曜</span>		
	雨天: 3月2日(日)		
時間	午前 7時30分 ~ 午前 8時30分		
集積場所	実施団体の定めた場所		
実施団体	岩野田北PTA・子ども会育成会		
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>次回の予定</td> <td>4月12日(土)</td> </tr> </table>	次回の予定	4月12日(土)
次回の予定	4月12日(土)		

**アルミカンの分別** アルミ罐は、業者の買い取り価格が高いため、スチール罐など他のものと分けましょう。

**資源分別回収で回収するもの** ※太枠の品目以外のもは、絶対に出さないでください。

	紙類	古着	カン・フライパン類
回収品目	① 新聞 ② チラシ(新聞の折り込みチラシ) ③ 雑誌(カタログ、ノート、単行本等) ④ 段ボール ⑤ 紙パック(牛乳など) ⑥ 雑がみ(包装紙、ボール紙、紙箱、コピー紙、紙封筒など)	古着(革製品などは除く) 下着、タオル・タオルケット シーツ (破れたもの、汚れのひどいものは20cmぐらいに切って普通ごみへ)	アルミ罐 スチール罐 缶詰罐 菓子罐 金属製のフライパン なべ・やかん (ホーロー・テフロン加工可)
出し方	・種類ごとにヒモで十文字に縛る。 ・雑がみは、封筒や紙袋に入れて出すこともできます。	・透明または半透明の袋に入れる。 ・雨の日や雨の降りそうな日は出さないでください。	・透明または半透明の袋に入れる。 ・罐は中身を洗う。
出せないもの	・汚れた紙、感熱紙、カーボン紙、油紙、写真、ガムテープ、内側が銀色の紙パック、セロハン、ビニール類 ⇒普通ごみへ出してください。	・ふとん、ざぶとん、枕、裁断くず、じゅうたん、マット、カーテン、スリッパ、靴、カバン、ぬいぐるみ、ネクタイ、帽子、手袋、水着、ポアシャツなど ⇒粗大ごみへ出してください。	・土鍋、一斗缶、ガラスのなべふた ⇒粗大ごみへ出してください。 ・スプレー罐、カセットボンベ ⇒「危険物・廃食用油等」の収集日に出してください。

・ビン類とペットボトルは、週1回のビン・カン・ペットボトルの収集日に、指定のごみ集積場所に出してください。資源分別回収では集めません。

<p><b>岐阜市</b> ごみ分別アプリ 「さんあーる®」</p>	<p>iPhoneをご使用の方    Androidをご使用の方</p> <p>分別方法や出し方を調べることができます。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
--	--



この資料が不要になりましたら、雑がみとして地域の資源分別回収に出してください。

岩野田北 自治会連合会



岐阜市立岩野田北小学校 学校だより

# せんだんの木



令和7年2月1日 校長 各務 至

## 準優良校表彰（学校環境衛生活動）

先日、薬剤師さんや岐阜市教育委員会に来校いただき、審査を受けた結果、岐阜市の準優良校に選ばれました。これは、学校保健法に基づき、「学校においては、換気、採光、照明および保温を適切に行い、清潔を保つ等日常学校内の環境衛生の維持に努め、必要に応じてその改善を図らなければならない」と規定されていることを踏まえてのものです。もちろん、健康の保持増進と学習能率の向上が目的となります。



開校45年となり、年数の経っている校舎ですので、日々の維持管理がたいへんではあります。しかし、職員の日々の点検・検査や子供たちの委員会活動等により、様々な衛生基準がクリアされ、健康で快適な学習環境の実現を図っていることが評価されました。

### 保健体育委員長と副委員長の話

これは、私たち保健体育委員会からの外遊びの呼びかけや、毎朝の水質調査などの活動もあるけれど、美化委員会の活動も関係しているし、毎朝日直さんが教室で照明の明るさなどをチェックしていることも関係しているので、これは全校のみんなでもらえた賞だと思います。

引き続き、子供たちと共に環境整備に努めてまいります。

## 子供から学んだ価値の高い行動

朝のあいさつの様子から、子供に学ぶことができました。それは、児童会のみなさんのあいさつ活動の動きです。旗を持ちながら「おはようございます」と言うだけでなく、玄関の外まで出てきて遅れ気味の子に親身になって声をかけたり、下駄箱の靴を見て、まだ登校していない子を心配したりしていました。この行動は、「なかまのところに届く」とても価値の高いものだと言えます。

日々、何気なく行っている形式的になりがちなことについて、もっと意味を大切にしていこうと思わせてくれました。

